

10月19日
重版出来!

『神様のいる街』 吉田篤弘 著

作家の出发点を描く、感動的な自伝エッセイ。ようやく重版。

吉田篤弘さんはクラフト・エヴィング商會名義でたくさんのデザインの仕事をし、一方で小説家として多くの物語を世に送り届けています。その一方、エッセイは驚くほどに少なく、本書はそのなかでも、もっとも率直に自身のこれまでにについて語った1冊です。2018年に刊行された本書は、「デビュー作のような瑞々しいものを書いてほしい」という弊社からの依頼に吉田さんが正面からこたえてくれたもの。20歳の主人公が、自分の大好きな「神様のいる街」に何度も足を運び、本をとおして自己をつくる。その「神様のいる街」とは、神保町と神戸。実際にあった沢山のお店と本が出てきます。そして物語の最後に主人公は結婚します。清々しい読後感に満ち、ポエジーに溢れていて、最後には胸がギュッとなる。吉田さんファンにも、入門にも最適な一冊。読者、書店の皆様より重版希望の声をいただき、ようやく重版となりました。ぜひご注文ください。

吉田篤弘
神様のいる街

いつも
晴れて
いた。

価格:1600+税/128頁(うち2色刷り32ページ)

四六判/ハードカバー ISBN 978-4-904816-27-1 C0095

取次: JRC (すべての取次からの搬入が可能です)

ご注文は JRCへ FAX: 03-3294-2177 電話: 03-5283-2230

発行 株式会社 夏葉社 TEL/FAX 0422-20-0480 東京都武蔵野市吉祥寺北町1-5-10-106

神様のいる街

吉田篤弘 著

発行 夏葉社 ISBN 978-4-904816-27-1 C0095 本体一六〇〇円+税

ご担当者様

冊

取り扱い書店名